



(I) 資本主義の成立

【復習】資本主義経済と社会主義経済の違い

[資本主義経済]

な経済

財産を私有する自由・競争する自由

- ①生産手段は 私有
- ② 利潤 の追求をする
- ③市場において 自由競争 をする

[社会主義経済]

な経済

財産は国のもの・国の計画で平等に分配

- ①生産手段は 社会的 所有（＝国が管理）
- ②国による 計画経済 を実施
＝自由な競争はしない

どのような背景で、資本主義経済が確立したのだろうか？

■ 資本主義の成立(イギリス)

15 世紀末～ [1] (エンクロージャー) 羊毛生産拡大のため農民を追い出して私有地に。

→ 土地を追われた農民が都市に流入し、労働者としての生活が余儀なくされる

18 世紀後半 [2]

- [3] に代わり、工場制機械工業が発展
- ・経営者が工場などの設備をもち生産をおこなうようになり、自由競争がはじまる

資本主義経済の確立 → 結果、格差が生まれる : 資本家階級 と 労働者階級

生産手段の所有者 ↔ 労働力を売るだけ

* 18 世紀ごろの経済思想

★入試頻出

[4] [5] (諸国民の富) (1776)

[6] (=レッセ・フェール) を基調とする経済を理想

国は民間の経済活動に手を出さず、自由にさせればいい。

国防や司法などの必要最低限の活動に専念する国家 = [7] を理想

⇒各人が自由な経済活動をすれば、神の「8」によって調整される

彼の思想が自由貿易を拡大させ、イギリスの植民地拡大へとつながった



経済学の父



その後、資本主義経済はどのように変容したか…

■ 独占資本主義の成立

* 19 世紀半ば 銀行を中心とした企業集団の形成 → 資本の集中・集積



* 20 世紀前半 ・競争の勝者が市場を独占 → 貧富の差が拡大し失業者増加。資本主義への不満高まる。

(Ⅱ) 資本主義の修正

資本主義経済への不満が募る中、世界を巻き込む大事件発生 = 1929^[9]]

資本主義経済の見直し

新たな道を模索

社会主義経済へ変革

* 20 世紀前半～ **修正資本主義**

マルクスによって体系化

1933～ ^[10]] (米大統領: ^[11])

大規模な 公共投資 (政府による投資) を行い、失業者を保護 **政府の積極的関与**

・ 主な例: テネシー渓谷開発公社→政府企業によるテネシー川流域の総合開発

* 20 世紀前半の経済思想

★入試頻出

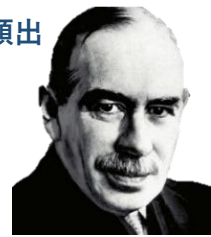
👤 ^[12]) 『雇用・利子および貨幣の一般理論』(1936)

・ ^[13]) の創出を主張

↓ 経済が停滞したら、政府が需要のあるものを創出して、不況を克服

・ 国による完全雇用の実現 = ^[14]) を理想

・ 民間部門と公共部門が相互補完的な役割を果たす = ^[15]



ケインズ革

* 社会主義経済の経済思想

👤 ^[16]) 『資本論』『共産党宣言』 + α 👤 ^[17])

従来の社会主義思想を空想的と批判し、科学的社会主義理論の確立に努めた
目指したのは ^[18]) の無い世界!

↓ **マルクスの思想が世界に影響を与える**

1917 年 👤 レーニンが ^[19]) を成功させ、世界初の社会主義国家(ソ連)が誕生(1922)

その後、第二次世界大戦後には中国や東欧諸国も、ソ連の影響を受けて社会主義国へ

↓ **計画経済は労働者の意欲を損ない、成功に至らず...**

1980 年後半には自由化の波が社会主義国に押し寄せた

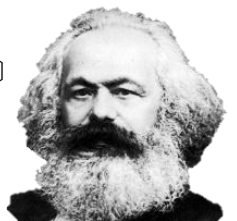
ソ連: 1980 年代後半 👤 ゴルバチョフによる ^[20]) (立て直し)

→ 建て直しも及ばず、1991 年にソ連解体 → **独立国家共同体**(^[21]) が誕生

東欧: 自由化を推し進め、社会主義を放棄 (**東欧革命**)

中国: 1993 年より **社会主義市場経済** を導入し、対外的には ^[22]) 政策が採用

1997 年に香港・1999 年にマカオが返還されたが、この二国は資本主義を採用しているため
中国内に資本主義と社会主義が共存する仕組みとなっている = ^[23])



* 1970 後～1980 前 ケインズ政策の限界 ⇒ 再び「小さな政府」へ = ^[24]]

公共事業の財源はどこから…? → 国債の発行によって国の財政を圧迫し始める

※アメリカの経済学者^[25]) などによって主張された (**マネタリズム**)

財政によって完全雇用を目指すケインズ政策を否定し、**規制緩和や民営化による市場機能回復**を図る

例: 👤 サッチャー (英)、👤 レーガン政権 (米)、👤 中曽根政権 (日)、などが影響



(I) 資本主義の成立

【復習】資本主義経済と社会主義経済の違い

[資本主義経済]

自由 な経済

財産を私有する自由・競争する自由

- ①生産手段は **私有**
- ② **利潤** の追求をする
- ③市場において **自由競争** をする

[社会主義経済]

平等 な経済

財産は国のもの・国の計画で平等に分配

- ①生産手段は **社会的** 所有（＝国が管理）
- ②国による **計画経済** を実施
＝自由な競争はしない

どのような背景で、資本主義経済が確立したのだろうか？

■ 資本主義の成立(イギリス)

15 世紀末～ [1 **囲い込み**] (エンクロージャー) 羊毛生産拡大のため農民を追い出して私有地に。
→ 土地を追われた農民が都市に流入し、労働者としての生活が余儀なくされる

18 世紀後半 [2 **産業革命**]

- ・工場制手工業 ([3 **マニファクチュア**]) に代わり、**工場制機械工業** が発展
- ・経営者が工場などの設備をもち生産をおこなうようになり、**自由競争** がはじまる

資本主義経済の確立 → 結果、格差が生まれる : **資本家階級** と **労働者階級**

生産手段の所有者 ↔ 労働力を売るだけ

* 18 世紀ごろの経済思想

★入試頻出

👤 [4 **アダム＝スミス**] 『5 **国富論** (諸国民の富)』 (1776)

[6 **自由放任主義**] (=レッセ・フェール) を基調とする経済を理想

国は民間の経済活動に手を出さず、**自由にさせればいい。**

国防や司法などの必要最低限の活動に専念する国家 = [7 **小さな政府**] を理想

⇒ 各人が自由な経済活動をすれば、神の「8 **見えざる手**」によって調整される

彼の思想が自由貿易を拡大させ、イギリスの植民地拡大へとつながった



経済学の父



その後、資本主義経済はどのように変容したか…

■ 独占資本主義の成立

* 19 世紀半ば 銀行を中心とした企業集団の形成 → 資本の集中・集積



* 20 世紀前半 ・競争の勝者が市場を独占 → 貧富の差が拡大し失業者増加。資本主義への不満高まる。

(Ⅱ) 資本主義の修正

資本主義経済への不満が募る中、世界を巻き込む大事件発生 = 1929^[9] **世界恐慌**]

資本主義経済の見直し

新たな道を模索

社会主義経済へ変革

* 20 世紀前半～ 修正資本主義

マルクスによって体系化

1933～ [^[10] **ニューディール政策**] (米大統領: ^[11] **F. ルーズベルト**)

大規模な 公共投資 (政府による投資) を行い、失業者を保護 **政府の積極的関与**

・ 主な例: テネシー渓谷開発公社→政府企業によるテネシー川流域の総合開発

* 20 世紀前半の経済思想

★入試頻出

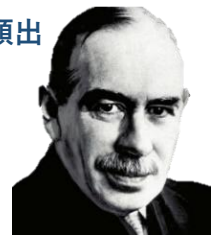
👤 [^[12] **ケインズ**] 『雇用・利子および貨幣の一般理論』(1936)

・ [^[13] **有効需要**] の創出を主張

↓ 経済が停滞したら、政府が需要のあるものを創出して、不況を克服

・ 国による完全雇用の実現 = [^[14] **大きな政府**] を理想

・ 民間部門と公共部門が相互補完的な役割を果たす = [^[15] **混合経済**] **ケインズ革命**



* 社会主義経済の経済思想

👤 [^[16] **マルクス**] 『資本論』『共産党宣言』 + α 👤 [^[17] **エンゲルス**]

従来の社会主義思想を空想的と批判し、科学的社会主義理論の確立に努めた
目指したのは [^[18] **搾取**] の無い世界!

↓ **マルクスの思想が世界に影響を与える**

1917 年 👤 **レーニン** が [^[19] **ロシア革命**] を成功させ、世界初の社会主義国家(**ソ連**)が誕生(1922)

その後、第二次世界大戦後には**中国や東欧諸国**も、ソ連の影響を受けて社会主義国へ

↓ **計画経済は労働者の意欲を損ない、成功に至らず...**

1980 年後半には自由化の波が社会主義国に押し寄せた

ソ連: 1980 年代後半 👤 **ゴルバチョフ** による [^[20] **ペレストロイカ**] (立て直し)

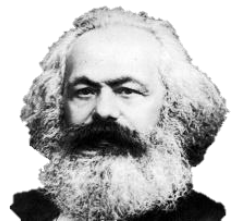
→ 建て直しも及ばず、1991 年に**ソ連解体** → **独立国家共同体**(^[21] **CIS**) が誕生

東欧: 自由化を推し進め、社会主義を放棄 (**東欧革命**)

中国: 1993 年より**社会主義市場経済**を導入し、対外的には [^[22] **改革・開放**] 政策が採用

1997 年に**香港**・1999 年に**マカオ**が返還されたが、この二国は資本主義を採用しているため

中国内に資本主義と社会主義が共存する仕組みとなっている = [^[23] **一国二制度**]



* 1970 後～1980 前 ケインズ政策の限界 ⇒ 再び「小さな政府」へ = [^[24] **新自由主義**]

公共事業の財源はどこから…? → 国債の発行によって国の財政を圧迫し始める

※アメリカの経済学者[^[25] **フリードマン**] などによって主張された (**マネタリズム**)

財政によって完全雇用を目指すケインズ政策を否定し、**規制緩和や民営化による市場機能回復**を図る

例: 👤 サッチャー (英)、👤 レーガン政権 (米)、👤 中曽根政権 (日)、などが影響